

☆RIM POWER INTELLIGENCE DAILY

★No. 420 Apr 1 2015

Copyright (c) 2015 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

--Tokyo, 16:30 JST

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

◎お知らせ

○「先渡価格」開始のお知らせ

当レポートでは、本日発行分から新たに先渡価格の提示を開始しました。これまでは、直近3カ月の提示でしたが、新たに6限月の先渡価格を提示します。燃料価格のフォワード動向をベースとして、全国统一価格とします。値幅はつけずに1本値での提示と致します。問い合わせ先：電力チームまで 03-3552-2411 info@rim-intelligence.co.jp

○1日のレックス22は前日から0.51ポイント低下し101.85です。

1日のレックス22は小幅続落。一部国内指標は上昇したものの、すべての輸入指標が弱含んだことで下落した

【リムレポートサンプル】 ※レポート名をクリックすると、各レポートの見本にジャンプします。  
サンプルは本日付けではございません。あらかじめご了承ください。

[原油・コンデンセート](#) [LNG](#) [アジア石油製品](#) [ジャパン石油製品](#) [ローリーラック](#)

[石油化学](#) [RIM Data File](#) [石油化学データ](#) [中国語版ウェブサイト](#) [LPG](#) [Bunker](#)

**◎電力市況**
**○Rim Index翌日渡し**

2日受渡	東日本		前日比	西日本		前日比
24時間	10.79	~ 11.79	-0.75	10.76	~ 11.76	-0.65
昼間	11.11	~ 12.11	-1.50	11.06	~ 12.06	-1.32
ピーク	11.25	~ 11.35	-2.43	11.25	~ 11.35	-1.47
夜間	10.35	~ 11.35	+0.30	10.35	~ 11.35	+0.30

円/kWh

**○Rim Index先渡し価格**

	24時間	前日比
5月	13.31	-
6月	12.86	-
7月	13.24	-
8月	13.47	-
9月	13.06	-
10月	13.14	-

円/kWh

※全国統一価格として提示。Rim推定の発電燃料(石炭、LNG、原油、C重油)のスポット価格およびJCCを適用した発電単価がベース。大手電力9社の火力発電設備における燃料毎の比率を出して前述の発電単価を乗じ限界費用を出す。過去の限界費用とスポット価格のヒストリカルから一定の比率を導き出し、限界費用に一定の比率を加算したものの。

**○JEPX指標価格**

受渡日	2015/4/2	前日比	前週比
24時間平均	円/kWh 11.27	-0.72	-0.94
昼間平均	円/kWh 11.58	-1.45	-0.91
ピーク平均	円/kWh 11.30	-2.08	-0.25
約定総量	kWh 28,989,500	-288,000	-9,619,500

昼間 8:00~22:00 ピーク 13:00~16:00

平均=単純平均値

**◎マーケット概況**
**<スポット市場>**
**2日受渡**
**○東西ともに軟化、昼間の供給増加を受け昼間価格の下げ幅が拡大**

東西ともに軟化した。2日受渡の24時間(中心値)は、東日本が前日比0.75円安の11.29円、西日本が同0.65円安の11.26円。1日の天候不順から一転し、2日の天気は全国的に晴れ間が広がると予想されたため、太陽光発電の供給が増える見通しとなり昼間の売りが増加、価格の圧迫要因となった。昼間価格は、東西ともに前日比1円を超える大幅安。ただ、2日の予想最低気温は1日よりも低いため、夜間価格は需要増の見通しから小幅上昇した。東西の価格差は、0.03円と1日受渡の0.13円から0.10円縮小した。

2日の日照量は1日よりも大幅に増える公算が大きい。気象庁は1日11時、2日の東京の天候について「晴れ、朝晩曇り」と予報した。1日の「曇り、夕方から雨」から一転しそうだ。東京以外の主要都市についても、2日は晴れ間が増えるとみられている。

2日の気温も1日とは様相が異なる。1日11時時点の気象庁の予報によると、2日の最高気温は平年

から高めになる見通しだが、最低気温は1日より大幅に低くなりそう。1日17時現在までに記録した最低気温をみると主要10都市のうち札幌、仙台、新潟、富山を除く6都市では10度を超えていた。対照的に2日の予想最低が10度を超えるのは大阪、福岡、高松の3市にとどまる。10都市の2日の予想気温は、最低が零度から13度、最高が11度から23度の範囲にそれぞれ収まっていた。

こうした天気や気温動向に連動する格好で売り入札量も推移した。JEPXの2日受渡の売買入札量をみると、売り入札量は前日から約17%増加し2億2,500万台に達した。このうち、昼間の売り札が前日から約48%増となっており、日照量がもっとも増えるピーク時(13時~16時)の売り札は前日からほぼ倍増した。日照量の増加に伴い太陽光発電の供給力が増えるため、昼間の余剰電力をスポット向けに投入する動きが加速した格好。一方、夜間の売り札は前日から15%近い減少となった。

スポット価格や売買入札量などに影響のある大手9社のピーク時予備力は、2日の合計が2,142万キロワットの見込みで、このときの予備率が20.3%、使用率が83.1%となる。1日実績(18時台まで)と比べると、供給予備率は1.6ポイント上昇し、使用率が1.1ポイント低下する。なお、東西別では、東日本の予備率が24.3%(1日比0.3ポイント上昇)、使用率が80.4%(同0.3ポイント低下)、西日本の予備率が17.0%(同2.4ポイント上昇)、使用率が85.4%(同1.9ポイント低下)の見通し。

JEPXの2日受渡の取引では東日本市と西日本の間で、2時間(4コマ)の市場分断が発生、1日受渡の4時間を下回った。2日受渡で分断した4コマはすべて昼間で、東西市場の最大価格差は12時~12時30分につけた0.59円。約定水準は東が11.01円、西が10.42円だった。その他の価格差は0.35円、0.32円、0.17円(JEPXの売買入札量データなど詳細は後述)。

リム試算の発電単価(2日受渡)は、LNG(熱効率44.1%)が前日比0.19円安の6.95円、石炭(同40.5%)が同0.02円安の3.21円、輸入C重油(LSF0・同38.4%)が同0.09円安の11.08円、国産C重油(硫黄分0.3%・同38.4%)が同横ばいの10.79円、原油(同38.4%)が同変わらずの10.70円だった。

1日から運用を始めた電力広域的運営推進機関(OCCTO)が公表する電力需要実績によると、3月30日(月曜)の北海道から九州までの9地域の需要合計は、前年同期に比べ9.4%多い22億8,716万4,000kWhとなった(2014年3月30日は日曜)。地域別では、中部が前年同期比21.5%増ともっとも上乘せ幅が大きかった。北海道は1.9%減と唯一前年同期を下回った。同日の最大電力の時間帯をみると、中部、北陸、関西、中国が10時、北海道、東北、東京、四国が19時、九州が20時だった。一方、3月1日~30日の9地域累計は763億8,736万8,000kWhと、前年同期より1.8%少ない。北陸、中国、四国、九州は微増だが、東京など5地域は前年を下回っている。

3日の天気は全国的に崩れるが、気温は2日より高くなりそう。気象庁は、東京の3日の天気を「曇り」と予報した。その他の主要9都市では、曇りに加えて雨も予想されている。気温も振幅が大きくなる可能性が高い。10都市中、仙台や新潟を含む8都市で予想最高が20度を超える。2日も大阪など西日本の4都市で最高が20度以上になりそうだが、3日は高松で26度が見込まれるなど、6都市で平年を5度以上高くなるとみられている。

\*取引所では24時間を30分毎、計48コマに分け約定する。評価価格の24時間、昼間(8:00~22:00)、ピーク(13:00~16:00)は約定価格を基に算出。

\*市場分断：日本の電気の周波数は、東日本が50Hz、西日本が60ヘルツの交流。そのため50Hzを60に、60Hzを50に変える設備が周波数変換設備(FC)。FCの混雑がない場合には全国同一価格で約定するが、混雑が発生した場合、市場が分断され、東日本と西日本で異なる価格が生じる。

## <日本卸電力取引所(JEPX)>

### スポット市場(翌日渡し)の各種データ

#### 【売買入札量動向】

売り入札量は、前日と真逆の動きとなり、昼間は前日から約1.5倍に増加。ピーク時に至ってはほぼ倍増しており、2日の天気予報が大きく影響した。1日は全国的に曇りや雨で太陽光発電の供給力は減少したものの、2日の天気は一転して全国的に晴れ間が期待できるため、太陽光発電の供給力増加が期待できる。したがって、太陽光見合いの売りが増え、9時台から16時台の売り札の力

ープをみても、この時間帯に山を描く動きとなった(売買入札量のグラフ参照)。一方、夜間は減少しており、特に0時～8時の売りが前日から2割近く減少した。定検や補修などでベース電源である石炭火力の停止が増えているなか、北日本で最低気温が平年を下回る見通しとなるなど夜間の需要増加を懸念した動きが出たとみられる。買入札量も夜間は増加しており、夜間価格の上昇要因となった。

2日受渡	24時間	前日比	昼間	前日比	ピーク時	前日比	夜間	前日比
売り入札量	225,182,000	17.1%	141,981,000	48.1%	37,013,000	91.8%	83,201,000	-13.7%
買入札量	76,395,000	-0.3%	47,246,000	-3.8%	10,717,500	-2.5%	29,149,000	5.9%

※単位: kWh

### 【約定量動向】

約定量は前日から小幅減少。価格が下落した昼間の買いが進んだものの、価格が上昇した夜間の買いが減少したため、24時間全体では相殺される格好となった。ピーク時は価格下落幅が大きくなったことから、経済性見合いの買いが進展したようだ。

2日受渡	24時間	昼間	ピーク時	夜間
約定量	28,989,500	16,054,500	4,097,500	12,935,000
前日比	-1.0%	2.1%	39.4%	-4.6%

※単位: kWh

### 【価格動向】

東西ともに昼間の下げ幅が拡大した一方、夜間は小幅高となり、24時間全体では昼間の下げに圧迫された。

コマごとの内訳をみると、東西ともに前日から35コマが下落、10コマが上昇、横ばいが3コマとなった。このうち昼間は全28コマが下落しており、上昇した10コマは夜間2時から7時となった。売り札と買い札の動きにそのまま連動しており、とくにピーク時平均では東日本が前日から2.43円、西日本が1.47円のそれぞれ下落となり、下げ幅を拡大した。

高値は東西同値の13.53円となり、システムプライスも含め時間は18時30分～19時の1コマだった。前日高値から0.71円の下落。一方、安値は東西ともに前日から下落し、東西同値の9.93円と10円を割り込んだ。前日安値から0.18円の下落。

2日受渡	高値	前日比	安値	前日比	昼間	前日比	ピーク時	前日比	夜間	前日比	夜間0時～8時	前日比	夜間22時～24時	前日比
東日本	13.53	-5.0%	9.93	-1.8%	11.61	-11.4%	11.30	-17.7%	10.85	2.8%	10.93	4.9%	10.53	-4.6%
西日本	13.53	-5.0%	9.93	-1.8%	11.56	-10.2%	11.30	-11.5%	10.85	2.8%	10.93	4.9%	10.53	-4.6%
東西格差(東-西)	0.00		0.00		0.05		0.00		0.00		0.00		0.00	

※単位: 円/kWh、昼間、ピーク時、夜間は平均価格

### 【市場分断動向】

東西エリア(FC)間で計2時間(4コマ)の市場分断が発生し、東日本が西日本を全て上回る価格となった。東西間の最大価格差は12時～12時30分の0.59円となり、このときの東日本は11.01円、西日本は10.42円だった。システムプライスに対して、東日本は全4コマが割高となった一方、西日本は全4コマが割安だった。

市場分断は減少傾向となってきた。過ごしやすい気温で需要が減少傾向になっているなか、発電設備の停止も多くなっているため、過度な需要増加や余剰電力が解消され、東西の需給バランスが保たれていることが要因。

### 2日受渡

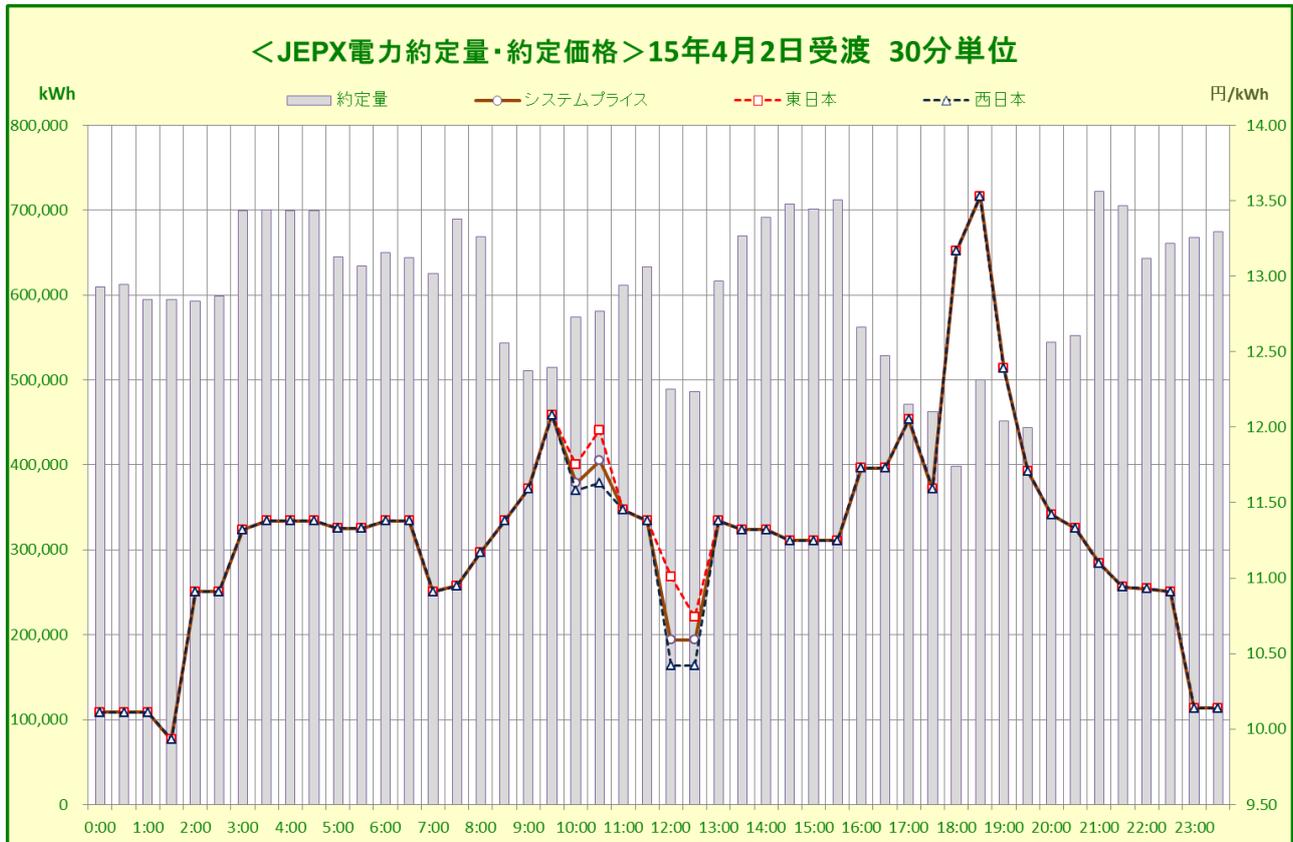
※単位: 円/kWh

時間	システム プライス	東日本	西日本	東西格差 (東-西)	システムプライスとの価格差 (東-システム) (西-システム)
10時～10時30分	11.63	11.75	11.58	0.17	0.12 -0.05
10時30分～11時	11.78	11.98	11.63	0.35	0.20 -0.15
12時～12時30分	10.59	11.01	10.42	0.59	0.42 -0.17
12時30分～13時	10.59	10.74	10.42	0.32	0.15 -0.17

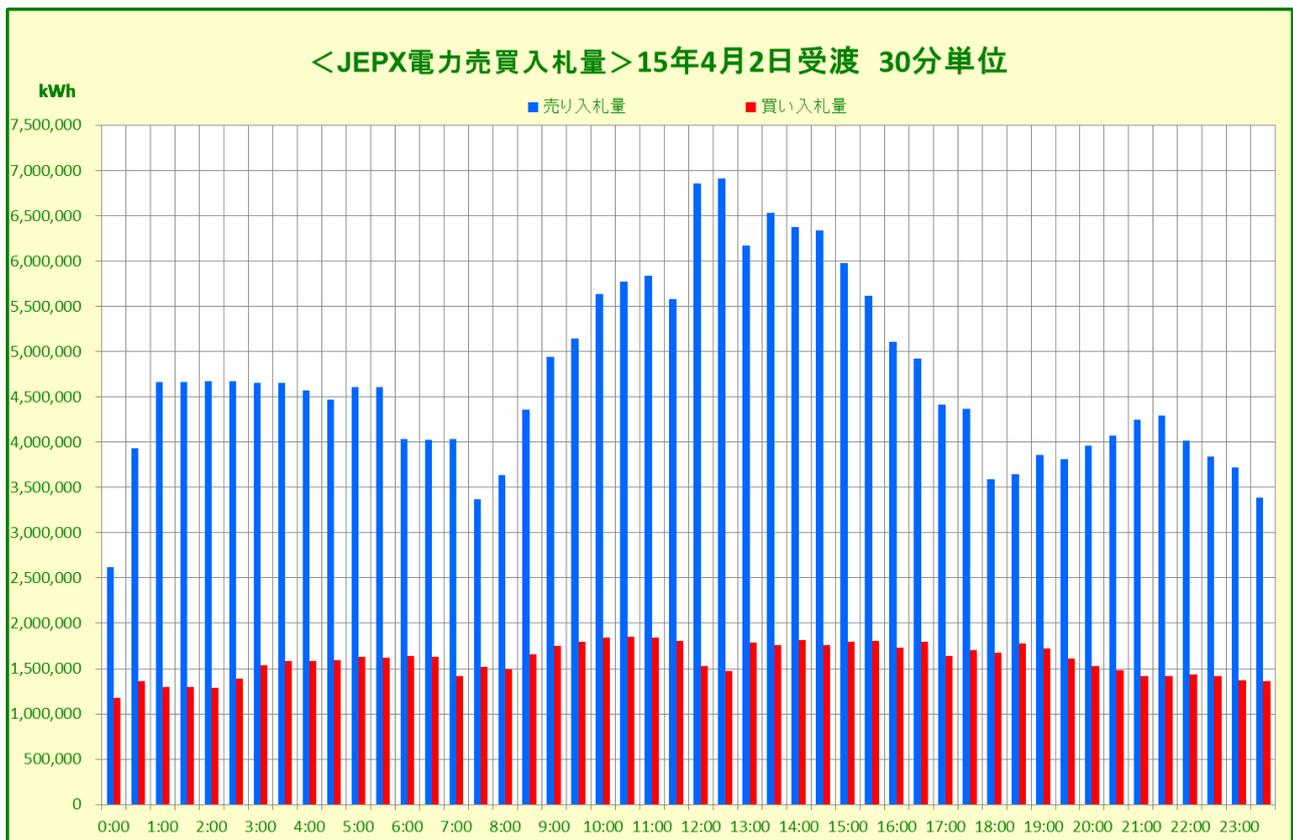
**◎日本卸電力取引所 (JEPX) 約定量と約定価格 (4月2日受渡)**

○東西エリア (FC) 間で2時間 (4コマ) の市場分断が発生。※分断詳細は前記。

約定量2,898万9,500kWh。実勢高値: 13.53円 (統一)、実勢安値: 9.93円 (統一)。


**◎日本卸電力取引所 (JEPX) 売買入札量 (4月2日受渡)**

○売り入札量計: 2億2,518万2,000kWh、買い入札量計: 7,639万5,000kWh



**◎主要都市の週間予想気温(4月2日~4月8日): 気象庁4月1日11時発表**

【気温】最高気温および最低気温ともに、平年並か平年より高い日が多く、期間中頃にかけて平年よりかなり高い日もある見込み。ただし、期間終わりは平年より低くなる所もありそう。

【天気】2日は高気圧に覆われ概ね晴れるものの、その後は前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなる見込み。

都市	2日 予想最低	2日 予想最高	2日 平年最低	2日 平年最高	最低の差	最高の差	天気	都市	6日 予想最低	6日 予想最高	6日 平年最低	6日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	0.0	11.0	0.4	8.0	-0.4	3.0	☀	札幌	3.0	9.0	1.3	9.3	1.7	-0.3	☁
仙台	6.0	13.0	3.5	12.2	2.5	0.8	☀/☁	仙台	8.0	14.0	4.4	13.2	3.6	0.8	☁ ☔
新潟	6.0	15.0	4.6	12.9	1.4	2.1	☀	新潟	8.0	16.0	5.6	14.1	2.4	1.9	☁
東京	9.0	18.0	6.8	16.2	2.2	1.8	☀/☁	東京	10.0	18.0	7.7	17.2	2.3	0.8	☁ ☔
名古屋	8.0	19.0	6.8	16.9	1.2	2.1	☀	名古屋	14.0	21.0	7.8	18.0	6.2	3.0	☁ ☔
富山	5.0	15.0	4.5	14.2	0.5	0.8	☀	富山	10.0	18.0	5.4	15.3	4.6	2.7	☁
大阪	11.0	21.0	8.1	16.8	2.9	4.2	☀/☁	大阪	14.0	21.0	9.0	17.9	5.0	3.1	☁ ☔
広島	9.0	20.0	7.3	16.9	1.7	3.1	☀	広島	14.0	19.0	8.3	17.9	5.7	1.1	☁ ☔
高松	10.0	21.0	6.9	16.3	3.1	4.7	☀/☁	高松	14.0	21.0	7.8	17.5	6.2	3.5	☁ ☔
福岡	13.0	23.0	9.0	16.9	4.0	6.1	☁/☀	福岡	14.0	19.0	9.7	17.8	4.3	1.2	☁ ☔
都市	3日 予想最低	3日 予想最高	3日 平年最低	3日 平年最高	最低の差	最高の差	天気	都市	7日 予想最低	7日 予想最高	7日 平年最低	7日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	1.0	7.0	0.6	8.3	0.4	-1.3	☁/☔	札幌	2.0	9.0	1.6	9.6	0.4	-0.6	☁
仙台	5.0	20.0	3.7	12.4	1.3	7.6	☁→☔	仙台	5.0	11.0	4.6	13.4	0.4	-2.4	☁ ☔
新潟	7.0	23.0	4.9	13.2	2.1	9.8	☁→☔	新潟	5.0	12.0	5.8	14.3	-0.8	-2.3	☁
東京	9.0	22.0	7.0	16.5	2.0	5.5	☁	東京	7.0	11.0	7.9	17.5	-0.9	-6.5	☁ ☔
名古屋	11.0	17.0	7.1	17.2	3.9	-0.2	☁ ☔	名古屋	10.0	17.0	8.0	18.3	2.0	-1.3	☁ ☔
富山	10.0	25.0	4.7	14.5	5.3	10.5	☁→☔	富山	6.0	13.0	5.7	15.6	0.3	-2.6	☁
大阪	13.0	22.0	8.3	17.1	4.7	4.9	☁→☔	大阪	9.0	15.0	9.2	18.2	-0.2	-3.2	☁ ☔
広島	16.0	21.0	7.6	17.2	8.4	3.8	☁→☔	広島	9.0	15.0	8.5	18.2	0.5	-3.2	☁
高松	15.0	26.0	7.1	16.6	7.9	9.4	☁→☔	高松	9.0	15.0	8.0	17.8	1.0	-2.8	☁
福岡	20.0	23.0	9.1	17.2	10.9	5.8	☁/☔	福岡	10.0	15.0	9.9	18.0	0.1	-3.0	☁
都市	4日 予想最低	4日 予想最高	4日 平年最低	4日 平年最高	最低の差	最高の差	天気	都市	8日 予想最低	8日 予想最高	8日 平年最低	8日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	5.0	14.0	0.9	8.6	4.1	5.4	☁→☀	札幌	2.0	10.0	1.8	9.8	0.2	0.2	☀/☁
仙台	10.0	15.0	3.9	12.7	6.1	2.3	☁ ☔	仙台	4.0	11.0	4.8	13.6	-0.8	-2.6	☁
新潟	10.0	20.0	5.1	13.5	4.9	6.5	☁ ☔	新潟	3.0	13.0	6.0	14.6	-3.0	-1.6	☁
東京	14.0	21.0	7.3	16.8	6.7	4.2	☁ ☔	東京	6.0	11.0	8.1	17.7	-2.1	-6.7	☁
名古屋	15.0	22.0	7.3	17.5	7.7	4.5	☁/☔	名古屋	8.0	15.0	8.2	18.5	-0.2	-3.5	☁
富山	13.0	24.0	4.9	14.8	8.1	9.2	☁ ☔	富山	4.0	14.0	5.9	15.8	-1.9	-1.8	☁
大阪	17.0	24.0	8.5	17.4	8.5	6.6	☁/☔	大阪	7.0	13.0	9.4	18.4	-2.4	-5.4	☁
広島	18.0	23.0	7.8	17.4	10.2	5.6	☁/☔	広島	6.0	14.0	8.7	18.4	-2.7	-4.4	☁
高松	16.0	24.0	7.3	16.9	8.7	7.1	☁ ☔	高松	6.0	13.0	8.3	18.1	-2.3	-5.1	☁ ☔
福岡	17.0	22.0	9.3	17.4	7.7	4.6	☁ ☔	福岡	8.0	15.0	10.1	18.2	-2.1	-3.2	☁ ☔
都市	5日 予想最低	5日 予想最高	5日 平年最低	5日 平年最高	最低の差	最高の差	天気	(注)							
札幌	4.0	11.0	1.1	9.0	2.9	2.0	☁	・予想最低・最高気温、天候は気象庁による1日11時発表データ							
仙台	8.0	16.0	4.2	12.9	3.8	3.1	☁ ☔	・平年最低・最高気温の出所: 気象庁							
新潟	10.0	17.0	5.3	13.8	4.7	3.2	☁ ☔	・平年の統計期間: 1981年~2010年							
東京	11.0	21.0	7.5	17.0	3.5	4.0	☁	・最低・最高気温の差= 予想最低・最高気温-平年最低・最高気温							
名古屋	15.0	23.0	7.5	17.8	7.5	5.2	☁ ☔	・天気の略号							
富山	13.0	21.0	5.2	15.0	7.8	6.0	☁ ☔	☀(晴れ)、☁(曇り)、☔(雨)、❄(雪)、							
大阪	17.0	23.0	8.7	17.6	8.3	5.4	☁ ☔	→(後)、/(時々)、 (一時)、*(~か~)、暴風(暴風)							
広島	17.0	22.0	8.0	17.7	9.0	4.3	☁ ☔	・天気の表記例							
高松	16.0	24.0	7.6	17.2	8.4	6.8	☁ ☔	☁→☀(「曇り後晴れ」など)、❄/☀(「雪時々晴れ」など)							
福岡	16.0	22.0	9.5	17.6	6.5	4.4	☁ ☔	☔☀(「雨一時晴れ」など)、☁☀(「曇りが晴れ」など)							
								暴風❄(「暴風雪」など)							

**◎電力9社の供給予備率と使用率**

1日18時台までの最大電力(速報)による電力9社の供給予備率と使用率は以下のとおり。

2日は1日夕刻時点の供給計画。

**4月1日の供給予備率と使用率**

	ピーク時供給力	最大電力	供給予備率	使用率	他社受電	応援融通	最大電力時間帯	気温実績(最低/最高)
北海道	531	405	30.9%	76.4%	60 (-3)	-	18時台	4.2 / 8.6
東北	1,194	1,061	12.5%	88.9%	238 (-11)	-	16時台	6.5 / 13.7
東京	4,140	3,264	26.8%	78.8%	466 (-58)	-	18時台	12.6 / 18.7
東日本3社計	5,865	4,730	24.0%	80.7%	764 (-72)	-	-	7.8 / 13.7
中部	1,933	1,731	11.7%	89.5%	-	-	10時台	12.2 / 15.6
北陸	419	384	9.1%	91.6%	-	-	16時台	9.5 / 15.1
関西	2,057	1,749	17.6%	85.0%	283 (-48)	-	18時台	15.3 / 18.0
中国	826	715	15.5%	86.6%	-	-	09時台	15.4 / 20.9
四国	381	336	13.4%	88.2%	-	-	18時台	15.0 / 20.2
九州	1,184	1,020	16.1%	86.1%	244 (+25)	-	18時台	13.6 / 19.5
中西日本6社計	6,800	5,935	14.6%	87.3%	-	-	-	13.5 / 18.2
9社合計	12,665	10,665	18.7%	84.2%	-	-	-	11.6 / 16.7

単位: 万kW、気温は℃、他社受電のカッコ内は前日実績分との増減

気温の地域は電力9社の本店所在地(札幌、仙台、東京、名古屋、富山、大阪、広島、高松、福岡)とし合計は平均

気温実績は気象庁による17時現在までの実績

**4月2日の供給予備率と使用率見通し**

	ピーク時供給力	予想最大電力	供給予備率	使用率	他社受電	応援融通	予想最大電力時間帯	気温見通し(最低/最高)
北海道	537	405	32.7%	75.4%	62 (+2)	-	18時台	0.0 / 11.0
東北	1,197	990	20.9%	82.7%	246 (+8)	-	18時台	6.0 / 13.0
東京	4,164	3,350	24.3%	80.5%	448 (-18)	-	18時台	9.0 / 18.0
東日本3社計	5,898	4,745	24.3%	80.4%	756 (-8)	-	-	5.0 / 14.0
中部	1,941	1,700	14.2%	87.6%	-	-	09時台	8.0 / 19.0
北陸	450	365	23.3%	81.1%	-	-	09時台	5.0 / 15.0
関西	2,068	1,680	23.1%	81.2%	257 (-26)	-	18時台	11.0 / 21.0
中国	806	700	15.1%	86.8%	-	-	09時台	9.0 / 20.0
四国	373	340	9.7%	91.2%	-	-	19時台	10.0 / 21.0
九州	1,156	1,020	13.3%	88.2%	217 (-27)	-	19時台	13.0 / 23.0
中西日本6社計	6,794	5,805	17.0%	85.4%	-	-	-	9.3 / 19.8
9社合計	12,692	10,550	20.3%	83.1%	-	-	-	7.9 / 17.9

単位: 万kW、気温は℃、他社受電のカッコ内は前日実績分との増減

気温の地域は電力9社の本店所在地(札幌、仙台、東京、名古屋、富山、大阪、広島、高松、福岡)とし合計は平均

気温見通しは気象庁11時発表の予報

**◎電力9社の供給予備率8%以上の予備供給力と電力量**

電力9社による2日の供給予備率8%以上の予備供給力は9社合計で890万kWの見込み。

予備供給力をベースにした24時間の電力量は9社合計で2億1,360万kWh。

JEPXの2日受渡の売り入札量は合計で2億2,518万2,000kWh。

**電力9社：供給予備率8%以上の予備供給力と電力量(4月2日)**

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	9社計
予備供給力	100	128	546	105	56	254	50	6	54	1,298
電力量(24H)	2,398	3,067	13,104	2,520	1,339	6,086	1,200	139	1,306	31,159

単位: 供給力は万kW、電力量は万kWh、千kWおよび千kWh以下は四捨五入

※電力システム改革専門委員会の報告書(2013/2)では、「原則8%または最大電源ユニット相当の予備力を確保しつつ、少なくともそれを超える電源分をスポット市場に投入する」と卸電力取引所の活性化を促している。

**◎電力9社のピーク時供給予備力とRimIndex24時間**

電力9社の供給予備力を棒グラフで積み上げ。RimIndex24時間は折れ線グラフ。

供給予備力が少ない場合スポット価格は上昇する傾向にある。

1日は18時台までの最大電力を適用。2日は1日夕刻時点の供給計画。

※2015年4月2日(木)のRim Index24時間は11.28円、予備力は2,142万キロワットの見込み。

2014年4月3日(木)のRim Index24時間は16.11円、予備力は1,929万キロワットだった。

**4月1日の電力9社による供給予備力**

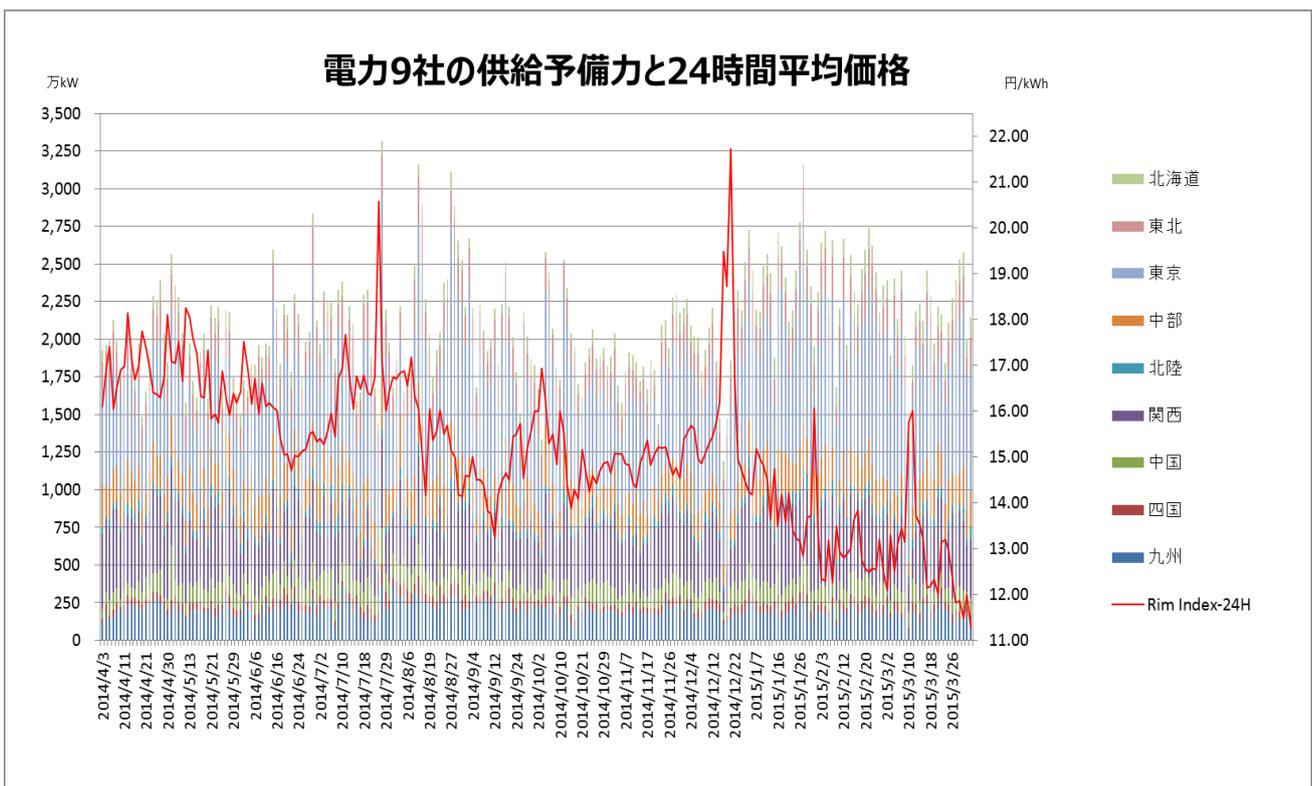
※単位: 万kW、カッコ内は前日比

	9社合計	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
供給予備力	1,999(-577)	125(-32)	133(-96)	876(-156)	202(-80)	35(-52)	308(-151)	111(-28)	45(+5)	164(+13)

**4月2日の電力9社による供給予備力見直し**

※単位: 万kW、カッコ内は前日比

	9社合計	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
供給予備力	2,142(+143)	132(+7)	207(+74)	814(-62)	241(+39)	85(+50)	388(+80)	106(-5)	33(-12)	136(-28)



※供給予備力：ピーク時供給力から最大電力を引いたもの。ここでの最大電力実績は18時台までの数値を採用。

土日祝日は供給予備力およびRim Indexともに除外。14年5月1日、8月13日～15日、12月29日～31日、15年1月2日も含まず。

**◎火力発電所動向**
**4月1日に変化が確認された火力発電設備：2基・105万kW**

社名	発電所名(ユニット番号)	種別	使用燃料	定格出力(万kW)	状況
北海道	知内1号機	運転	重油	35	4/1の16時40分、通常運転に復旧
	苫東厚真発電所4号機	定検	石炭	70	4/1、定期検査開始

現時点で確認されている運転停止や再開状況。定期点検の実施および予定。

※確認でき次第随時更新します。色付きは新規の掲載分および変化(例、予定→停止)があったものです。なお、停止および再開動向が不明になった場合、予告なしに表から削減することもあります。

**火力発電設備動向：停止火力の総合リスト(上記の最新情報を含む)**

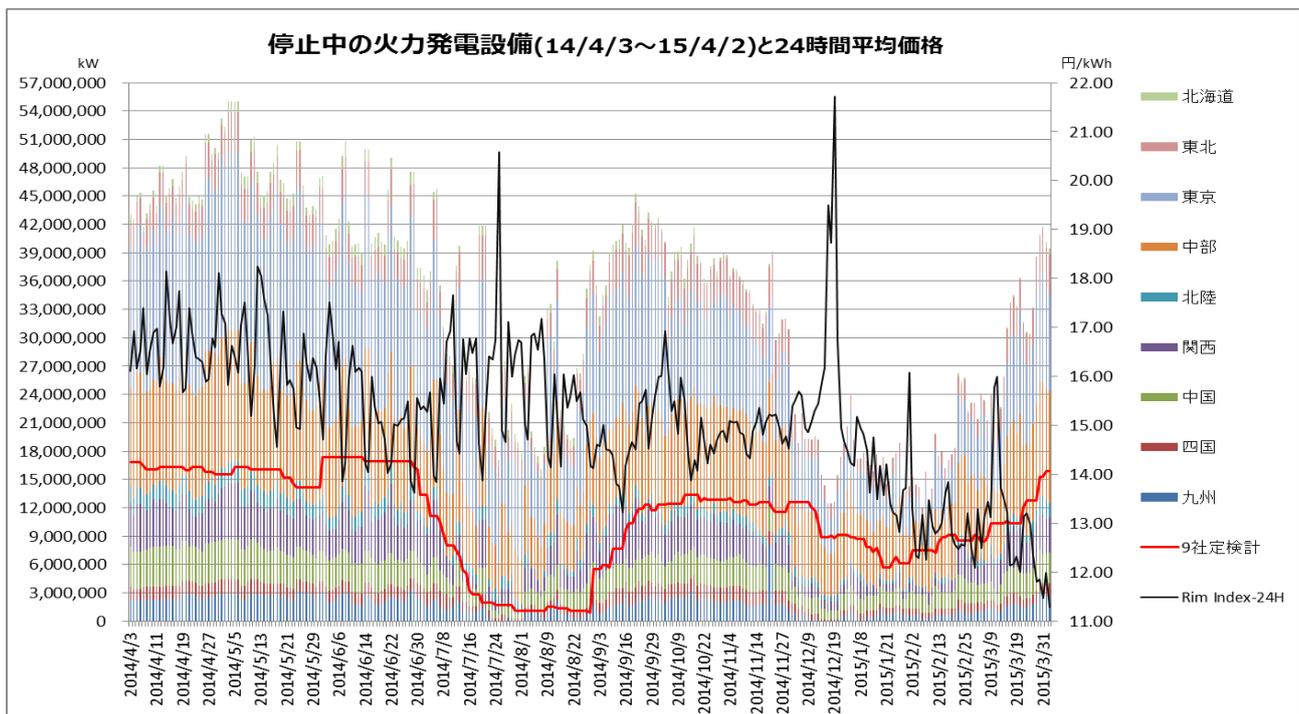
社名	発電所名(ユニット番号)	種別	使用燃料	定格出力(万kW)	状況
北海道	知内1号機	運転	重油	35	4/1の16時40分、通常運転に復旧(給水加熱器の細管1本の施工完了) (3/28、停止(給水加熱器の補修作業=復旧の見通し:4/1頃)(3/25の17時27分に上限出力を31.5万kWに抑制=給水加熱器内部でボイラーに供給する水の漏洩を確認)
	苫東厚真発電所4号機	定検	石炭	70	定期検査の予定:4/1-7/11
東北	八戸5号機	試運転開始 (燃転工事終了)	LNG	41.6	3/13に試運転開始(LNGへの燃転工事終了) 定検予定期間:12/1-6/30-LNGへ燃料転換に伴う停止
	秋田2号機	定検中	石油	35	11/3、定期検査入り (予定期間:11/3-4/9=ボイラーなどの補修)
	秋田3号機	定検中	石油	35	3/14、予定どおり定期検査開始 (定検の予定期間:3/14-7/25)
	原町1号機	定検中	石炭	100	3/7、定期検査開始 (定検の予定:3/7-7/2)
東京	袖ヶ浦1号機	停止	LNG	60	3/26、停止(-60万kW) (運転予定:3/23-3/25=+60万kW) (停止予定:2/23-2/27)(2/20、運転)(1/28、停止)
	鹿島5号機	停止	原・重油	100	3/23、停止(-100万kW)=週間予定との比較 (運転予定:3/23-3/27(+100万kW) (3/11、運転見送り=当初予定=-100万kW←3/10夕刻発表)(停止予定:3/9-3/10=-100万kW)
	鹿島7-2軸	停止	都市ガス	42	3/27、停止(-42万kW)
	大井1号機	停止	原油	35	3/13、停止(-35万kW)
	大井3号機	停止	原油	35	3/9、停止(-35万kW=6日時点の予定との比較) (6日時点の運転予定:3/9-3/12=+35万kW) (運転予定:3/3-3/6=+35万kW)
	品川1-1軸	停止	都市ガス	38	3/27、停止(-38万kW)
	東扇島2号機	定検中	LNG	100	2/12、定期検査開始 (停止予定:2/12-2/13=-100万kW) (定期検査の予定期間:2/12-7/9=蒸気タービンなどの点検・補修)
	広野1号機	停止	原・重油	60	3/27、停止(-60万kW) (3/24、運転=+60万kW)
	広野2号機	定検	原・重油	60	3/3時点、定期検査中 (定検の予定期間:2/28-7/8=蒸気タービン等の点検・補修)
	広野3号機	停止	原・重油	100	3/17、停止(-100万kW) (運転予定:3/2-3/6=+100万kW) (停止予定:2/23-2/25=-100万kW)
	広野4号機	停止	原・重油	100	3/31、停止(-100万kW) (運転予定:3/23-3/27=+100万kW) (3/19、停止)(運転予定:3/9-3/13)(2/27、停止)
	姉崎3号機	停止	原・重油/LNG/ LPG/NGL	60	3/13、停止(-60万kW)
	五井5号機	運転予定	LNG	35	3/31、運転(+35万キロワット) (3/27、停止=-35万kW)
	富津1-6軸	停止	LNG	16.5	2/19、停止(-17万kW) (停止予定:2/19-2/20=-17万kW)
	富津1-7軸	停止	LNG	16.5	2/19、停止(-17万kW) (停止予定:2/19-2/20=-17万kW)
富津2-6軸	定検期間中	LNG	16.5	停止予定:3/2-3/6(-17万kW) (定期検査の予定:期間2/28-6/9=ガスタービン部品などの点検・補修)	

中部	知多2号機	定検中	LNG	53	1/24、定期検査期間入り (予定期間：1/24-5/29=発電機などの点検)
	知多4号機	定検中	LNG	70	予定期間：2/21-7/4 (蒸気タービンローターの取り替えなど)
	知多第二2号機	定検中	LNG	85	予定期間：1/31-7/3 (蒸気タービン低圧ローターの取り替えなど)
	川越3-1号機	定検中	LNG	24	予定期間：2/14-7/2 (発電制御装置関係の制御盤取り替えなど)
	川越3-4号機	定検中	LNG	24	予定期間：11/15-4/4 (発電制御装置関係の制御盤取り替えなど)
	川越4-4号機	定検中	LNG	24	予定期間：2/18-6/13 (蒸気タービンパッキングの修理など)
北陸	敦賀1号機	定検	石炭	50	3/9、定期検査のため停止 (3/9~6月上旬)
	富山新港石炭1号機	定検	石炭・重油	25	3月中旬~6月中旬の予定
	七尾大田2号機	定検	石炭・木質バイオマス	70	3/30、定期検査開始 (作業の予定期間:3月下旬~7月上旬)
関西	堺港1号機	定検	LNG	40	定期検査の予定期間:3/29-6/1月上旬
	堺港3号機	運転	LNG	40	3/30時点、運転中 (作業停止:3/9-3/27)
	南港2号機	定検	LNG	60	定検検査の予定期間:3/1-7/中旬
	海南2号機	定検	原・重油	45	9/25、定期検査開始 (予定期間：9/25-5/5) (バーナー改造などの補修)
	海南4号機	定検	原・重油	60	11/9、定期検査の開始 (定検の予定期間：11/9-4/14=蒸気タービン等の補修)
	御坊1号機	停止	原・重油	60	3/31時点、待機(バランス)停止(-60万kW) (3/30、運転)(3/27、待機停止)(3/12、運転)
	御坊2号機	定検	原・重油	60	定期検査の予定期間:3/14-6/下旬
	姫路第一5号機	作業停止	LNG	72.9	3/31時点、作業停止(-73万kW) (作業停止:3/10-3/31) (3/9:出力抑制=-50万kW)
	姫路第二新1号機	定検予定	LNG	48.65	定期検査の予定=5/1月上旬-7/1月上旬
	姫路第二新4号機	不具合停止	LNG	48.65	2/16の8時40分、起動操作中止 (-49万kW)=同日8時29分に発電機の軸受の異常振動確認=2/17発表 (4月下旬頃に再開の見通し=3/31時点の状況)
	姫路第二新6号機	営業運転へ移行	LNG	48.65	3/25の16時に営業運転へ移行 (14/10/10に試運転開始)
	相生1号機	運転	原・重油	37.5	3/30時点、運転 (待機停止:3/26-3/27)
	相生2号機	定検	原・重油	37.5	3/30時点、作業中 (3/4、待機停止) (定期検査の予定:3/28-6/下旬)
	中国	水島2号機	出力増	石炭	15.6
岩国2号機		運転予定	原・重油	35	運転予定:3/31 需給見合い (3/25、停止:-34万kW=需給見合い) (3/23、運転:+34万kW=需給見合い)
岩国3号機		停止	原・重油	50	3/30 停止のよう(-50万kW)=需給見合い
柳井1号系列1軸		定検	LNG	12.5	3/16、停止のよう(-13万kW)=定期検査
柳井1号系列3軸		定検予定期間終了	LNG	12.5	3/26、出力増のよう(+11万kW)=試運転の工程 (3/25、出力増のよう:+1万kW=試運転の工程 (定期点検中: 予定期間: 9/22-3/27=蒸気タービンの取り替えなど)
柳井1号系列4軸		待機停止	LNG	12.5	3/13、待機停止のよう(-12万kW)=需給見合い
柳井2号系列1軸		作業停止	LNG	19.8	3/9、停止のよう:取水路清掃 (-19万kW)
柳井2号系列2軸		作業停止	LNG	19.8	3/9、停止のよう取水路清掃 (-20万kW)
柳井2号系列3軸		定検	LNG	19.8	1/13、定期検査にともない停止中 (定検の予定期間:1/12-7/25 =制御装置の補修、運転時間管理によるガスタービン高温部品の定期取り替え)
柳井2号系列4軸		作業停止	LNG	19.8	3/9、停止のよう=取水路清掃 (-20万kW)
下関2号機		出力増	重油	40	3/30、出力増のよう(+36万kW) ガス混合通風器の修理完了 (3/19、作業停止:ガス混合通風器の修理)
三隅1号機	定検	石炭	100	3/30、停止のよう(-65万kW)=定期点検 (3/27、出力減=-35万kW)=石炭焼き切り運転)	
阿南2号機	待機停止	原・重油	22	2/25の16時、補修・定期検査の作業終了、待機停止 (定期検査の当初予定:12/19-2/27=ボイラー-蒸発管の修理など)	

四国	阿南3号機	停止	原・重油	45	3/13、停止 (-45万kW) 3/6時点では予定外
	阿南4号機	出力増	原・重油	45	3/24、出力増 (+15万kW) (3/23、運転再開 = +30万kW) (停止予定:3/13 = -45万kW-3/6時点の予定)
	橘湾1号機	定検	石炭	70	3/24、定期検査開始 (3/24、停止:-30万kW) (3/23、出力減=-40万kW) (定検の予定期間:3/24-7月下旬)
九州	新小倉4号機	補修停止	石炭	36	補修停止の予定:3/21-5/28 (川内1号機の待機停止と川内2号機の補修終了と合算して-88万kW=20日の自社火力830万kW-21日の自社火力742万kW)
	苅田新1号機	補修停止	石炭	36	3/6、補修停止(-36万kW) (補修停止の予定期間:3/6-6/12)
	苅田新2号機	待機停止の予定 (待機停止)	原・重油	37.5	待機停止の予定:3/30-4/3 (3/26、待機停止 = -38万kW) (3/17、待機停止 = -38万kW)
	苓北2号機	補修停止	石炭	70	補修停止の予定期間: 3/29~6/26
	相浦2号機	待機停止	原・重油	50	3/30、待機停止
	新大分1-4軸	補修停止	LNG	11.5	3/3、補修停止 (補修停止の予定期間:3/3-4/19)
	新大分2-2軸	補修停止	LNG	21.75	補修停止の予定期間: 3/28~4/29
	川内1号機	待機停止	原・重油	50	3/30、待機停止
(電力9社以外の発電所動向)					
Jパワー	松浦火力2号機	仮復旧 (補修中)	石炭	100	2014年8月6日の17時、出力42万5,000キロワットで仮復旧 (出力100万kWの本格的な復旧は2015年6月末を予定) (定検の当初予定: 2014年3月16日~7月8日、2014年3月28日にタービンローターの落下事故)
常磐共同	勿来8号機	定検中	石炭・炭化燃料・木質ペレット	60	3/3、定期検査入り (作業予定期間:3/3-6/30 = 120日間)
酒田共同	1号機	定検	石炭	35	2/14、定期検査開始 (予定期間: 2/14-6/22)

○9 社定検計 (赤の折れ線グラフ) は、9 社で定期検査および 1 ヶ月以上の補修停止などに入っている火力の合計出力を折れ線グラフにしたもの (左軸)。9 社合計の停止火力の積み上げ棒グラフ (一部取材等による推定も含む) に対し、赤の折れ線グラフより上が定検以外の停止供給力の合計、下が定検火力の合計。

たとえば、4 月 2 日 (木) の 9 社合計の停止火力は推定 3, 949 万キロワットに対し、定検停止分は約 1, 589 万キロワットとなり、定検以外の要因で約 2, 360 万キロワットが停止。なお、1 年前の 2014 年 4 月 3 日 (木) の停止火力は 4, 305 万キロワットに対し定検停止分は約 1, 682 万キロワット、定検以外の要因で約 2, 623 万キロワットが停止した。



**◎ 電力価格・燃料ネットバック**

Rim Index (円/kWh)※1	受渡	24時間	昼間	ピーク	夜間	円/ドル(3/31)※2
	4月2日	11.28	11.59	11.30	10.85	121.17

	RIMインデックス (円/kWh)		熱効率※3	電力価格燃料ネットバック(DES、CIF)				燃料現行実勢※4		マージン
				\$/mt	\$/mmBtu	\$/bbl	Yen/kl	3月31日	単位	
LNG	24時間	11.28	44.10%	609.17	11.78			7.15	\$/mmBtu	4.63
			50.00%	692.43	13.39		\$/mmBtu		6.24	
			59.00%	819.45	15.85		\$/mmBtu		8.70	
	昼間	11.59	44.10%	626.28	12.11				\$/mmBtu	4.96
			50.00%	711.83	13.77		\$/mmBtu		6.62	
			59.00%	842.34	16.29		\$/mmBtu		9.14	
	ピーク	11.30	44.10%	610.55	11.81				\$/mmBtu	4.66
			50.00%	694.00	13.42		\$/mmBtu		6.27	
			59.00%	821.29	15.88		\$/mmBtu		8.73	
	夜間	10.85	44.10%	585.71	11.33				\$/mmBtu	4.18
			50.00%	665.83	12.88		\$/mmBtu		5.73	
			59.00%	788.06	15.24		\$/mmBtu		8.09	
石炭	24時間	11.28	40.50%	259.63	10.67		67.30	\$/mt	192.33	
			45.00%	289.52	11.89			\$/mt	222.22	
	昼間	11.59	40.50%	267.02	10.97			\$/mt	199.72	
			45.00%	297.74	12.23			\$/mt	230.44	
	ピーク	11.30	40.50%	260.22	10.69			\$/mt	192.92	
			45.00%	290.18	11.92			\$/mt	222.88	
夜間	10.85	40.50%	249.48	10.25		\$/mt	182.18			
		45.00%	278.25	11.43		\$/mt	210.95			
輸入C重油	24時間	11.28	38.40%	397.85	9.89		394.75	\$/mt	3.10	
	昼間	11.59	38.40%	409.44	10.18			\$/mt	14.69	
	ピーク	11.30	38.40%	398.78	9.91			\$/mt	4.03	
	夜間	10.85	38.40%	381.96	9.50			\$/mt	-12.79	
原油	24時間	11.28	38.40%	381.55	9.92	58.85	57.16	\$/bbl	1.69	
	昼間	11.59	38.40%	392.63	10.21	60.56		\$/bbl	3.40	
	ピーク	11.30	38.40%	382.44	9.94	58.99		\$/bbl	1.83	
	夜間	10.85	38.40%	366.35	9.52	56.50		\$/bbl	-0.66	
国産C重油 硫黄分0.3%	24時間	11.28	38.40%			49,550	47,400	Yen/kl	2,150	
	昼間	11.59	38.40%			50,912		Yen/kl	3,512	
	ピーク	11.30	38.40%			49,660		Yen/kl	2,260	
	夜間	10.85	38.40%			47,682		Yen/kl	282	
国産C重油 硫黄分3.0%	24時間	11.28	38.40%			49,550	41,000	Yen/kl	8,550	
	昼間	11.59	38.40%			50,912		Yen/kl	9,912	
	ピーク	11.30	38.40%			49,660		Yen/kl	8,660	
	夜間	10.85	38.40%			47,682		Yen/kl	6,682	

※1.Rim Indexは東西平均の中心値。※2.為替レートは三菱東京UFJ銀行発表のTTSを適用。※3.熱効率の太字は一般電気事業者の2013年度平均熱効率。※4.燃料現行実勢のLNGは「Rim LNGレポート」の北東アジア5月前半着価格、石炭は豪NEWCの4月積み価格にフレートを加算、輸入C重油は「Rim アジア石油製品レポート」のCFR JapanのLSFO 0.3%S、原油はRim試算の輸入CIF3月着価格、国産C重油は「Rim ジャパン石油製品レポート」の4月渡しの東西平均。2014年4月1日から石油石炭税(地球温暖化対策税)が値上げとなり反映。原油・石油製品2,540円/kl(+500円)、ガス状炭化水素1,600円/t(+520円)、石炭1,140円/t(+440円)。

**◎ スパーク/ダーク・スプレッド**

Rim Index (円/kWh、2日受渡)※1				スプレッド(円/kWh)※5								
24時間	昼間	ピーク	夜間	燃料	熱効率(%)※2	燃料価格※3 円/トッ・kl	課税後※6 円/トッ・kl	発電単価※4 円/kWh	24時間	昼間	ピーク	夜間
11.28	11.59	11.30	10.85						LNG	44.10	44,878	46,478
					50.00			6.13	+10.21	+12.64	+15.78	+4.72
					59.00			5.19	+6.08	+6.39	+6.11	+5.66
				石炭	40.50	8,155	9,295	3.21	+8.06	+8.37	+8.09	+7.64
					45.00			2.89	+8.38	+8.69	+8.41	+7.96
				輸入C重油	38.40	45,919	48,708	11.08	+0.19	+0.50	+0.22	-0.23
				国産C重油 硫黄分0.3%	38.40	47,400	47,400	10.79	+0.49	+0.80	+0.51	+0.06
				硫黄分3.0%	38.40	41,000	41,000	9.33	+1.95	+2.26	+1.97	+1.52
				原油	38.40	42,440	44,980	10.70	+0.57	+0.88	+0.60	+0.15

※1.Rim Indexは東西平均の中心値。※2.熱効率の太字は一般電気事業者の2013年度平均熱効率。※3.燃料価格のLNGは「Rim LNGレポート」の北東アジア5月前半着価格を円換算、石炭は豪NEWCの4月積み価格にフレートを加算し円換算、輸入C重油は「Rim アジア石油製品レポート」のCFR JapanのLSFO 0.3%Sを円換算、国産C重油は「Rim ジャパン石油製品レポート」の4月渡しの東西平均価格、原油はRim試算の輸入CIF3月着価格を円換算。円換算に用いる為替レートは三菱東京UFJ銀行発表のTTSを適用。※4.「発電単価」は電力熱量、燃料熱量、熱効率、燃料価格から導き出したもので設備利用率などは考慮せず。いわゆる「限界費用」となっている。※5.スプレッドはRim Indexから発電単価を引いた数値。※6.2014年4月1日から石油石炭税(地球温暖化対策税)が値上げとなり反映。原油・石油製品2,540円/kl(+500円)、ガス状炭化水素1,600円/t(+520円)、石炭1,140円/t(+440円)。

**◎電力および売電の入札予定・落札結果**
**<入札予定> 4/1官報**

施設名	予定使用量 (kWh)	契約電力 (kW)	負荷率 (%)	使用期間	開札
国立文化財機構 奈良国立博物館 (奈良県奈良市)	3,610,212	850	48.5	2015/7/1~2016/6/30	5/26(火)
海上保安庁 鹿児島第2地方合同庁舎 (鹿児島市元町)	1,006,000	350	35.7	2015/5/1~2016/3/31 (11カ月)	4/15(水)
国土交通省 新潟美咲合同庁舎1号館 (新潟県新潟市)	2,434,200	760	36.6	2015/7/1~2016/6/30	6/1(月)
国土交通省 東京運輸支局他22力所	n.a.	n.a.	-	2015/7/1~2016/6/30	6/5(金)

**<落札結果>**

施設名	予定使用量 (kWh)	契約電力 (kW)	負荷率 (%)	使用期間	契約単価 (1kWh・円)	契約金額 (税抜・円)	契約企業
横浜市 金沢区総合庁舎 (横浜市金沢区)(1/28開札)	822,500	311	30.2	2015/4/1~ 2016/3/31	19.67	16,174,837	エネット
横浜市 瀬谷区 総合庁舎など2力所 参照1 (横浜市瀬谷区)(1/27開札)	2,017,000	861	26.7	2015/4/1~ 2016/3/31	19.08	38,492,356	日本ロジテック
横浜市 戸塚区 総合庁舎 参照2 (横浜市戸塚区)(1/27開札)	2,523,000	1,150	25.0	2015/4/1~ 2016/3/31	18.90	47,688,684	日本ロジテック
横浜市 泉区 総合庁舎 参照3 (横浜市泉区)(1/27開札)	1,670,000	680	28.0	2015/4/1~ 2016/3/31	19.88	33,202,312	アーバンエナジー
横浜市 青葉区 総合庁舎 参照4 (横浜市青葉区)(1/27開札)	1,864,900	810	26.3	2015/4/1~ 2016/3/31	19.92	37,143,258	アーバンエナジー
横浜市 港北区 総合庁舎 参照5 (横浜市港北区)(1/27開札)	1,200,100	440	31.1	2015/4/1~ 2016/3/31	19.27	23,128,290	アーバンエナジー
横浜市 庁舎及び研修センター 参照6 (横浜市中区)(1/30開札)	2,374,000	1,001	27.1	2015/4/1~ 2016/3/31	19.89	47,210,450	アーバンエナジー
横浜市 高速鉄道1・3号線参照7 (横浜市)(2/3開札)	101,014,325	23,052	50.0	2015/4/1~ 2016/3/31	16.37	1,653,635,738	丸紅
横浜市 高速鉄道4号線 参照8 (横浜市)(2/3開札)	21,547,235	5,988	41.1	2015/4/1~ 2016/3/31	16.56	356,903,732	丸紅
横浜市 鶴見図書館など9館 参照9 (横浜市)(1/27開札)	2,201,000	941	26.7	2015/4/1~ 2016/3/31	19.81	43,590,916	丸紅
横浜市 中央図書館 参照10 (横浜市西区)(1/27開札)	3,380,000	730	52.9	2015/4/1~ 2016/3/31	17.73	59,921,264	F-Power
横浜市 磯子区 総合庁舎 参照11 (横浜市磯子区)(1/27開札)	2,425,000	830	33.4	2015/4/1~ 2016/3/31	19.31	46,824,058	F-Power
横浜市 健康福祉局 戸塚斎場 参照12 (横浜市戸塚区)(1/28開札)	1,002,000	480	23.8	2015/4/1~ 2016/3/31	17.55	17,587,392	F-Power

**参照 1 瀬谷区総合庁舎など2カ所**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
日本ロジテック(落札)	19.08	38,492,356
F-Power	20.08	40,493,286
エネット	20.11	40,566,006
丸紅	20.15	40,648,814
アーバンエナジー	20.21	40,762,484
ミツウロコGE	20.35	41,048,202

**参照 2 戸塚区総合庁舎**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
日本ロジテック(落札)	18.90	47,688,684
丸紅	20.30	51,215,574
F-Power	20.36	51,379,974
アーバンエナジー	20.41	51,499,946
ミツウロコGE	20.46	51,628,530
エネット	20.74	52,321,422
伊藤忠エネクス	辞 退	-

**参照 3 泉区総合庁舎**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
アーバンエナジー(落札)	19.88	33,202,312
丸紅	19.90	33,234,640
F-Power	19.97	33,346,716
エネット	20.02	33,430,980
ミツウロコGE	20.15	33,657,096
日本ロジテック	20.45	34,147,728

**参照 4 青葉区総合庁舎**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
アーバンエナジー(落札)	19.92	37,143,258
丸紅	20.17	37,618,136
F-Power	20.22	37,702,339
エネット	20.65	38,506,555
日本ロジテック	20.88	38,942,571
ミツウロコGE	辞 退	-

**参照 5 港北区総合庁舎**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
アーバンエナジー(落札)	19.27	23,128,290
ミツウロコGE	19.36	23,230,051
丸紅	19.57	23,486,510
エネット	19.64	23,565,835
日本ロジテック	20.20	24,247,840

**参照 6 横浜市庁舎及び市研修センター**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
アーバンエナジー(落札)	19.89	47,210,450
丸紅	20.16	47,863,568
エネット	20.19	47,937,836
日本ロジテック	20.26	48,087,356
F-Power	20.40	48,422,216
伊藤忠エネクス	辞 退	-
ミツウロコGE	辞 退	-

**参照 7 高速鉄道1・3号線**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
丸紅(落札)	16.37	1,653,635,738
F-Power	16.43	1,659,623,766
サミットエナジー	辞 退	44,479,784

**参照 8 高速鉄道4号線**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
丸紅(落札)	16.56	356,903,732
F-Power	16.63	358,308,817
サミットエナジー	辞 退	-

**参照 9 鶴見図書館など9館**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
丸紅(落札)	19.81	43,590,916
F-Power	20.06	44,154,778
エネット	20.21	44,479,784
日本ロジテック	20.35	44,799,646
伊藤忠エネクス	辞 退	-
アーバンエナジー	辞 退	-
ミツウロコGE	辞 退	-

**参照 10 中央図書館**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
F-Power(落札)	17.73	59,921,264
丸紅	17.91	60,522,874
ミツウロコGE	辞 退	-

**参照 11 磯子区総合庁舎**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
F-Power(落札)	19.31	46,824,058
丸紅	19.52	47,338,358
ミツウロコGE	19.55	47,399,146
エネット	19.66	47,671,918
アーバンエナジー	19.81	48,037,437
日本ロジテック	19.86	48,153,242

**参照 12 戸塚斎場(指名入札)**

参加企業	単価(円)	入札額(税抜)
F-Power(落札)	17.55	17,587,392
日本ロジテック	19.55	19,591,830
アーバンエナジー	19.70	19,738,726
ミツウロコGE	19.97	20,012,802
丸紅	20.83	20,873,693
伊藤忠エネクス	21.57	21,613,560
入札辞退	オリックス	エネサーブ
	東電	ダイヤモンドパワー
	エネット	サミットエナジー
	イーレックス	JX日鉱日石

施設名	予定使用量 (kWh)	契約電力 (kW)	負荷率 (%)	使用期間	契約単価 (1kWh・円)	契約金額 (税抜・円)	契約企業
高崎市 財務部 市役所 (群馬県高崎市)(2/27開札)	6,967,688	2,000	39.8	2015/4/1~ 2016/3/31	15.82	110,211,575	F-Power
高崎市 地域振興課 倉渕支所など6施設 (群馬県高崎市)(2/27開札)	1,834,421	1,018	20.6	2015/4/1~ 2016/3/31	18.40	33,755,920	F-Power
高崎市 文化課 群馬音楽センターなど8施設 (群馬県高崎市)(2/27開札)	2,248,932	1,728	14.9	2015/4/1~ 2016/3/31	18.50	41,597,277	F-Power
高崎市 福祉部社会福祉課 総合福祉センターなど16施設 (群馬県高崎市)(2/27開札)	2,786,712	1,620	19.6	2015/4/1~ 2016/3/31	18.07	50,347,504	F-Power
高崎市 保健医療総務課 総合保険センターなど3施設 (群馬県高崎市)(2/27開札)	1,769,450	593	34.1	2015/4/1~ 2016/3/31	17.86	31,604,141	F-Power
高崎市 中央小学校など32校 (群馬県高崎市)(2/27開札)	4,248,624	2,507	19.3	2015/4/1~ 2016/3/31	17.80	75,619,552	F-Power
高崎市 倉渕小学校など25校 (群馬県高崎市)(2/27開札)	3,150,175	2,095	17.2	2015/4/1~ 2016/3/31	17.98	56,640,400	F-Power
高崎市 第一中学校など30施設 (群馬県高崎市)(2/27開札)	6,977,067	4,819	16.5	2015/4/1~ 2016/3/31	18.02	125,700,582	F-Power
高崎市 社会教育課 かみつけの里博物館など8施設 (群馬県高崎市)(2/27開札)	1,075,990	826	14.9	2015/4/1~ 2016/3/31	18.38	19,778,531	F-Power
高崎市 中央体育館など15施設 (群馬県高崎市)(2/27開札)	2,608,156	2,037	14.6	2015/4/1~ 2016/3/31	18.20	47,479,187	F-Power

**◎地域別電力需要実績(電力広域的推進機関)**

※グラフは金曜日のみ掲載します。

	地域別電力需要実績				発電端ベース		
	最大電力	時間帯	前日比	前年比	日量	前日比	前年比
2015年3月30日							
北海道	4,050	19	6.9%	-2.8%	85,277	7.5%	-1.9%
東北	9,959	19	5.9%	-1.4%	217,225	8.4%	3.2%
東京	34,793	19	4.8%	5.2%	726,336	8.3%	6.8%
中部	17,333	10	23.3%	26.9%	352,009	19.4%	21.5%
北陸	3,649	10	12.0%	16.2%	80,648	15.8%	17.7%
関西	17,638	10	5.4%	8.6%	379,130	8.3%	10.8%
中国	6,957	10	6.1%	3.6%	156,326	10.4%	7.8%
四国	3,333	19	6.0%	6.2%	73,232	11.3%	11.4%
九州	9,954	20	7.3%	2.5%	216,981	11.4%	7.6%
9地域計	107,666	-	8.3%	7.7%	2,287,164	10.6%	9.4%

単位:最大電力=MW、日量=MWh

※本日分から最大電力の「時間帯」も明記します。

地域別合計日電力量			
2015年3月1日～30日			
エリア	日電力量合計	前年同期	前年比
北海道	2,870,634	3,098,419	-7.4%
東北	7,308,747	7,606,862	-3.9%
東京	24,272,252	25,002,088	-2.9%
中部	11,440,895	11,634,527	-1.7%
北陸	2,697,396	2,687,211	0.4%
関西	12,673,641	12,745,036	-0.6%
中国	5,356,115	5,328,832	0.5%
四国	2,469,045	2,421,122	2.0%
九州	7,298,643	7,243,583	0.8%
9地域計	76,387,368	77,767,680	-1.8%

単位: MWh

**◎マーケットニュース**
**<一般電気事業者>**
**○北海道電=知内石油火力1号機が復旧、苫東厚真石炭火力4号機は定検入り**

北海道電力は1日、給水加熱器の補修のため3月28日から運転を停止していた知内石油火力発電所1号機(定格出力35万キロワット)について、1日16時40分に復旧したと発表した。給水加熱器の細管1本でボイラーに供給する水の漏洩が確認されたため、施栓することにより補修を完了した。

また、北海道電で最大出力持つ苫東厚真石炭火力4号機(70万キロワット)は1日から定期検査に入った。定検期間は7月11日までの102日間を予定している。

**<燃料関連>**
**○指標原油市況=ブレント、WTIが続落、イラン核協議の進展で 4月1日**
**【概況】**

東京時間1日14時30分現在、インターコンチネンタル取引所(ICE)の北海ブレント原油相場は前日の海外市場での引け値に比べて軟化。ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)のWTI原油相場も弱含んでいる。ブレント原油の期近6月限は前日の海外市場での引け値に比べ21セント安の56ドル/バレル、WTI原油の期近6月限は同25セント安の49.09ドル/バレル。一方、ドバイ原油現物の期近6月物は前日の14時30分時点との比較で80セント安い53.56ドル/バレル。(ブレント原油の当限5月限、WTI原油の当限5月限はともに値下がり)。

ブレント原油、WTI原油の期近6月限は続落。イランの核開発をめぐる協議に関して、合意に近づいているとの見方から、前日の日中取引に続いて売られる展開となっている。

**【見通し】**

今夕以降のブレント原油相場の当限(ドル/バレル)相場見通しについて、フジトミの商品ストラテジスト、斉藤和彦氏は「引き続き今週は54~57ドルのレンジとなりそう」と予想。ただ、イラ

ンの核開発に関する協議が大きな材料となっていることで、市況は大きく動きやすいとも指摘している。

### <気象関連>

#### ○主要都市別の平均気温データ 15年3月

	主要都市の平均気温 2015年3月											
	上旬			中旬			下旬			平均		
	平均気温	前年差	平年差	平均気温	前年差	平年差	平均気温	前年差	平年差	平均気温	前年差	平年差
札幌	2.0	+5.0	+3.2	3.4	+3.3	+2.8	5.9	+1.9	+3.5	3.8	+3.4	+3.2
仙台	5.2	+3.3	+1.7	6.0	+1.3	+1.2	8.8	-0.7	+2.5	6.8	+1.2	+1.8
東京	7.9	+1.7	+0.6	10.5	-0.0	+1.8	12.2	-1.9	+2.2	10.3	-0.1	+1.6
新潟	6.1	+3.4	+1.7	6.5	+0.9	+0.7	8.3	-1.4	+1.1	7.0	+0.9	+1.2
富山	5.0	+2.0	+0.2	7.1	+0.5	+0.8	8.9	-1.6	+1.2	7.0	+0.2	+0.7
名古屋	7.8	+1.5	+0.8	10.1	+1.2	+1.5	11.1	-1.2	+0.9	9.7	+0.4	+1.0
大阪	7.8	+1.2	-0.2	10.9	+0.9	+1.4	11.7	-1.0	+0.8	10.2	+0.3	+0.7
高松	6.9	+0.5	-0.6	10.0	+0.2	+1.1	11.5	-1.3	+1.3	9.5	-0.2	+0.6
広島	6.6	-0.2	-1.0	10.9	+0.8	+1.7	12.1	-0.7	+1.5	10.0	-0.1	+0.8
福岡	7.7	-0.8	-1.2	11.9	+0.1	+1.5	13.3	-0.7	+1.7	11.1	-0.5	+0.7
9都市平均	6.4	+1.7	+0.5	8.9	+1.0	+1.5	10.6	-0.8	+1.7	8.7	+0.6	+1.3
電力本社平均	6.3	+1.6	+0.4	9.0	+0.9	+1.5	10.6	-0.8	+1.7	8.7	+0.5	+1.2

出所: 気象庁 9都市「札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、高松、広島、福岡」 電力本社: 札幌、仙台、東京、富山、名古屋、大阪、高松、広島、福岡

### <省エネ関連>

#### ○NEDO=「デマンドレスポンス」で夕刻の電力を10%抑制、米国で実証

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は1日、需要家が消費電力を調整することで需給を調整する「デマンドレスポンス」により、夕方の家庭の電力消費量を最大約10%抑制できることを実証したと発表した。実証試験はNEDOが米エネルギー省の研究所や米ニューメキシコ州など共同で2013年度から2年間にわたり同州ロスアロモス郡の約900軒の住宅を対象に実施した。

実証試験では、試験対象の家庭に対し、時間帯別に異なる電気料金を設定、消費者の消費行動を変えることで、電力の需要パターンの変化を促した。翌日の気温や電力需給の予測に基づいて、パソコンや携帯電話などを通じて電力価格を表示し、各家庭の電力使用量の増加が予想される夕方の時間帯に「エアコンの温度設定を変更する」、「外出時間を調整する」などの節電行動を促し、ピーク時間帯の電力消費を最大で約10%抑制できることを実証した。

米国では、主に夕方以降に電力需要のピークを迎えるため、太陽光発電の大量普及により「ダックカーブ問題」が発生している。ダックカーブとは、太陽光発電の系統連系が増えるにつれて、昼間の火力電源に対する電力需要が大きく下がる一方、夜のピーク需要との差が拡大し、夕刻に短時間かつ急速に火力に対する需要が増える現象を指す。デマンドレスポンスを適切に設計して運用すれば、ピーク需要を抑制し、ダックカーブ問題の緩和につながると期待される。

## ◎参考資料

**電力9社のインバランス料金(2015年4月)**

単位:円/kWh

		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州		
不足 補給	変動範囲内(3%)	15.92	14.77	17.88	16.18	10.20	14.68	12.08	12.80	13.30		
	変動範囲外	昼間	夏季	51.18	44.63	55.65	53.44	38.46	52.15	41.96	48.92	50.10
			他季	42.71	49.47	46.40	30.04	40.94	33.52	37.34	37.31	
		夜間	30.27	25.68	31.28	29.61	17.77	25.83	21.55	23.19	22.60	
余剰購入		9.31	9.83	13.22	12.13	5.19	9.45	8.11	6.77	8.22		
損失率	特別高圧	2.2%	2.1%	2.9%	2.2%	1.9%	2.9%	1.7%	2.0%	1.2%		
	高圧	5.1%	5.6%	4.2%	3.8%	4.0%	4.5%	5.2%	4.9%	3.3%		

**電力9社のインバランス料金(2015年5月)**

単位:円/kWh

		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州		
不足 補給	変動範囲内(3%)	15.21	14.36	17.16	15.74	10.20	14.13	11.66	12.43	12.92		
	変動範囲外	昼間	夏季	50.47	44.22	54.93	53.00	38.46	51.60	41.54	48.55	49.72
			他季	42.30	48.75	45.96	30.04	40.39	33.10	36.97	36.93	
		夜間	29.56	25.27	30.56	29.17	17.77	25.28	21.13	22.82	22.22	
余剰購入		8.60	9.42	12.50	11.69	5.19	8.90	7.69	6.40	7.84		
損失率	特別高圧	2.2%	2.1%	2.9%	2.2%	1.9%	2.9%	1.7%	2.0%	1.2%		
	高圧	5.1%	5.6%	4.2%	3.8%	4.0%	4.5%	5.2%	4.9%	3.3%		

※各社の「託送供給約款」をベースに燃料調整単価の変動幅を反映した数値。

インバランス料金：新電力が30分同時同量を達成できずに不足が生じた場合、大手電力が不足分を補給するが、その対価として新電力が大手電力に支払う料金。正式名称は「変動範囲内(外)発電料金」。なお、不足分が需要量の3%以内(変動範囲内)と3%超(変動範囲外)では料金が大きく異なる。

\* リム電力レポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、法的手段を講じたうえで、罰金を請求します。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

Editorial and Subscription Inquiry:

Tokyo office - Tel: (81) 3-3552-2411 Fax: (81) 3-3552-2415

e-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

Singapore office -- Tel: (65)-6345-9894 Fax (65)-6345-9894

e-mail [hagimoto@rim-intelligence.co.jp](mailto:hagimoto@rim-intelligence.co.jp)

Beijing office - Tel: (86)-10-6422-3712 Fax: (86)-10-8449-2198 e-mail: [rimbj@163bj.com](mailto:rimbj@163bj.com)

India office - Tel: (91)-98795-50717 e-mail: [kamlesh@rim-intelligence.co.jp](mailto:kamlesh@rim-intelligence.co.jp)

Shanghai office - Tel: (86)-21-5111-3575 e-mail: [rim\\_sh@rim-intelligence.co.jp](mailto:rim_sh@rim-intelligence.co.jp)